



感染を予防するために何ができる？

いろいろな病気の原因となるウイルスは、目に見えないくらい小さくて、つばやせき、くしゃみにのって、人から人へとうつる(=感染する)ことがあります。自分の体が元気でも、手についたウイルスが原因で広がることがあるので、注意が必要です。つまり、「感染予防」とは、自分への感染を防ぐことと、ほかの人へ感染を広めないことをいいます。新型コロナウイルス対策も含め、給食時にはどのようなことに気をつければよいのか、考えてみましょう。

給食の前にできることは？

★手をよく洗う

手についたウイルスを洗って落とすことで、食事といっしょにウイルスを口に入れないようにします。また、給食当番は給食にウイルスがつかないように、しっかり手洗い消毒をしましょう。



★具合が悪いのにがまんしない

具合が悪いときはがまんしないで、先生に伝え、給食当番を代わってもらいましょう。



★給食当番は清潔な身支度をしましょう

給食当番は、エプロンと三角巾、マスクをきちんとつけます。エプロンと三角巾は、かみの毛やゴミ、ほこり、ウイルスなどが給食に落ちないようにするために着替えます。

特に、髪の毛が落ちないようにしっかり三角巾をつけましょう。マスクは、つばやせき、くしゃみといっしょにウイルスがとびちるのを防ぎます。



★手洗いをした後〇〇しない

給食当番はトイレを済ませてから手洗いをしてエプロンに着替えましょう。給食以外のものは触らないようにしましょう。給食当番以外も、あちこち触らないように気をつけましょう。



給食時間中にできることは？

★口を開けて食べる

給食は、よくかんで、口を閉じて食べましょう。給食放送を参考に、食事マナーを意識しながら給食をおいしく味わってほしいと思います。



★給食を残さず食べる

給食は、病気に負けない強い体をつくるために、栄養たっぷりに考えるように考えて作っています。ですから、みなさんが給食を残さず食べることで、ウイルスも逃げていくような元気なからだをつくることができます。

★おかずの交換などをしない

給食時間中に友だちのじゃまをしたり、友だちの給食にさわるのはやめましょう。

自分のつばがついたはしやスプーンで、おかずを交換したり、自分の給食を食べてもらうこともやめましょう。

